

RSA® ARCHER® ISSUES MANAGEMENT

基本ユース ケース

課題

ガバナンス、リスク、コンプライアンス プロセスでは、問題の一覧や調査結果が各種のドキュメントに分散して作成されます。経営陣、GRCチーム、ビジネス マネージャーは、監査、コンプライアンス レビュー、リスク アセスメントに関連する未解決の問題をまとめて表示することができません。また、これらの問題に関連する現在および将来の改善活動に関するドキュメントは限られているため、未解決のリスクを軽減し、それらに対処するために行われている活動を十分に把握することができません。最後に、すべての問題を完全に解決できるわけではないため、一部の例外を受け入れる必要もあります。このような例外により、どの例外または逸脱がビジネスに対するリスク全体に影響を及ぼしているかを組織が把握できるようにするための適切なレビュー、承認、文書化が行われていない可能性があります。

問題の管理が適切でないと、可視性や説明責任がほとんどまたはまったくない状態で既知のリスクへの対応を開始することになります。問題は見過ごされる可能性があり、その場合、同じ監査事項が繰り返し発見され、コンプライアンス違反や重大なリスクが発生し、ビジネス部門に負担がかかることとなります。特定されたリスクの修復期限に間に合わなかったり、修復計画が適切に調整されていなかったりすると、改善活動にも悪影響が及ぶことがあります。

概要

RSA® Archer® Issues Managementでは、GRCプログラムの基盤を構築し、複数のグループ(監査、リスク、コンプライアンスなど)からの挙がっている問題を管理することができます。ユース ケースには、企業構造と説明責任を確立するためのビジネス階層、および発見事項、改善計画、例外を管理するためのワークフローとレポートが含まれます。

RSA Archer問題管理を使用すると、既知の問題を表示するための調整および統合されたビューを作成できます。問題をエスカレーションするための体系的な管理されたプロセスにより、既定の指揮系統を通じて帰属先を可視化することができます。また、問題、改善計画、例外を正しく承認するためのワークフローにより、特定された問題を適切に管理することができます。そのため、新たに発生する問題をすばやく解決できるうえ、コストを削減しながら、安全性と復元性に優れた環境を構築することができます。

主な特徴

- 統合された問題管理プロセス
- 改善計画と、リスク、コンプライアンス、監査などの評価によって得られた発見事項の統合/調整済みのリスト
- リスクの適切な承認を通じた例外管理

主なメリット

RSA Archer問題管理には、以下のようなメリットがあります。

- 監査、リスク、コンプライアンスに関する問題の解決にかかる時間の短縮
- 問題を解決するための要員配置管理の強化
- ビジネス活動や、問題への対応を担当するIT部門の、時間外勤務/リアクティブな過負荷の削減
- 繰り返し発見される問題の削減
- 全体のリスクの軽減

Risk Management Audit Management Enterprise Management Policy Center SHOW ALL

Retain web content according to company's retention policy Remediation Plans

NEW COPY SAVE EDIT DELETE Record 19 of 24 RELATED RECALCULATE EXPORT PRINT EMAIL

First Published: 6/29/2015 3:01 PM Last Updated: 6/29/2015 3:01 PM

GENERAL INFORMATION

Remediation Plan ID: RP-38 Status: In Process
 Name: Retain web content according to company's retention policy Remediation Type: Finding
 Description: - Review and confirm retention policy with Compliance and Risk. Address retention requirements (10 years) for advertisements (marketing) presented to customers via the company's website by modifying contract with supplier.
 - Document Service Agreement retention policy and procedure and obtain approval from legal; move current repository to an access controlled folder.
 - Confirm that the data warehouse retention policy maintains eSignatures for the required 10 yrs and obtain legal approval; setup ongoing review of access controls around the eSignature to prevent changes and obtain governance policies.

Estimated Cost: Actual Cost:
 Estimated Start Date: 11/3/2014 Actual Start Date: 11/4/2014
 Estimated Completion Date: 12/17/2014 Actual Completion Date:
 Priority: ● Days Open: 0

WORKFLOW

Remediation Plan Owner: Submission Status: In Process
 Submit Date:
 Remediation Plan Manager: Review Status: Awaiting Review
 Review Date:

RELATED FINDINGS | Add New |

Finding ID	Source	Target	Finding	Status
No Records Found				

OPEN TASKS/ACTIVITIES

ATTACHMENTS

HISTORY LOG | Compare Record Versions |

Date	User	Field	Action
6/29/2015 3:01:02 PM	Schlarman, Eric	Actual Start Date	Initial Entry: "11/4/2014"
		Audit Related Helper	Initial Entry: "No"

RSA Archer GRC

詳細情報

EMCの製品、サービス、ソリューションがお客様のビジネスやITの課題の解決にどのように役立つかの詳細については、担当営業または認定リセラーまでお問い合わせください。あるいは、RSAのWebサイト (www.rsa.com) をご覧ください。RSA Archerの既存のお客様でライセンスについてご質問がある場合、もしくは、追加情報が必要な場合には、弊社営業担当までお問い合わせください。